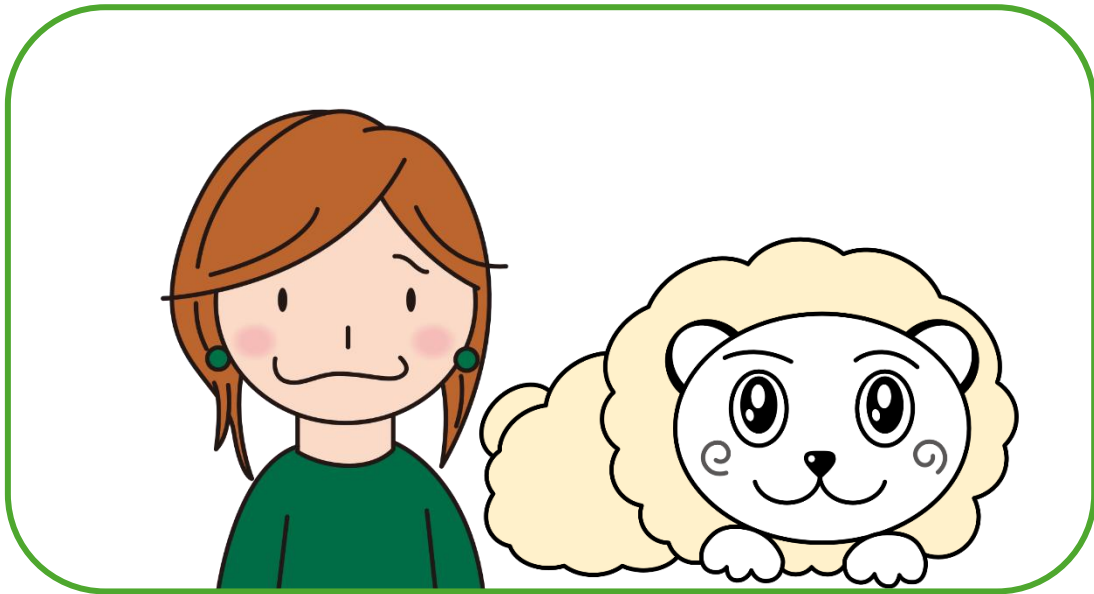


書籍【Laravel の教科書バージョン 12】

スターターキットへの変更点について



Version 1.0

作成日：2025 年 12 月 1 日

内容

はじめに	3
Laravel のディレクトリ（フォルダ）構造の変更.....	5
ルート設定の変更・ビューファイルの変更.....	6
Livewire のコードを書いてみる	9
レイアウトファイルの変更	11

はじめに

Laravel のスターターキットに、**Fortify が組み込まれるアップデート**がありました。

Fortify とは、ユーザー認証処理用のパッケージです。いわば、認証処理の【裏方】部分。

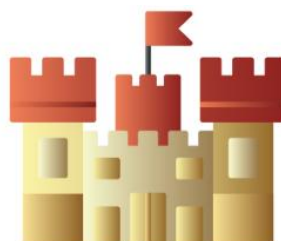
これにより、**二段階（二要素）認証などのユーザー管理機能がデフォルトで利用できるよ
うになり、セキュリティ面が強化**されました。

ただこれにより、書籍「Laravel の教科書」（以下【本書】とします）の内容に一部変更が生じました。本サポートガイドでは、今回のアップデートによる本書の変更点をご説明します。本書をご覧頂く際に、ぜひ、こちらのサポートガイドをお役立てください。

～★～☆ㄱ～★～☆ㄱ～★～☆ㄱ～★～☆ㄱ～★～☆ㄱ～★～☆ㄱ～★～☆ㄱ～



「Fortify って、日本語にすると【強化する】とか、【要塞化する】って意味みたいだね。なんだか守りが固くなりそう。」





「そのとおり！セキュリティ面がアップするよ。」



「それじゃ、面倒だけど、がんばって変更点をチェックしておこうかな。」

今回の Laravel の変更点について、下記コンテンツも併せて参考にしてください。

【Laravel 公式マニュアル】

<https://readouble.com/laravel/12.x/ja/fortify.html>

【著者のブログ記事】

https://biz.addisteria.com/laravel_starterkit_fortify/

【著者の Youtube 動画】

https://youtu.be/exnbNIPIFYw?si=d37r_Q-q_tx2kkDr

Laravel のディレクトリ（フォルダ）構造の変更

- 該当する章：3-2 Laravelのディレクトリ（フォルダ）構造の変更
- 該当ページ：p 92-93

今回の変更によってデフォルトのディレクトリ構造が少し変わりました。これまでは、

app/Livewire/Auth にユーザー認証関連の処理が書かれたファイルが入っていました。変

更後は、app/Livewire/Auth がなくなりました。代わりに **app/Actions/Fortify** の中

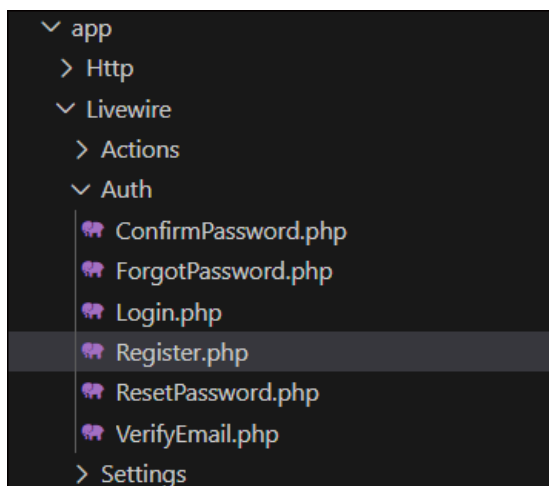
にユーザー認証関連の処理が書かれたファイルが入っています。

たとえば新規ユーザー登録用の処理は、変更前は app/Livewire/Auth/Register.php に書

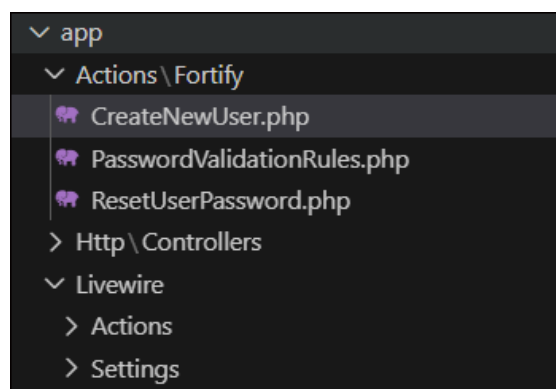
かれていましたが、変更後は app/Actions/Fortify/CreateNewUser.php に書かれていま

す。

【変更前】



【変更後】



ルート設定の変更・ビューファイルの変更

- 該当する章：4-1 Livewireとは？
- 該当ページ： p 108-111

これまでは、routes/auth.php にユーザー認証用のルート設定がはいつていました。今回

の変更により、この routes/auth ファイルがなくなりました。ユーザー認証用のルート設

定は、vendor ディレクトリ以下 (vendor/laravel/fortify/routes/routes.php) に入

っています。このファイルを編集する必要はありません。

また変更後は routes/web.php ファイルに下記のルート設定が追加されています。こちら

は二段階認証用のルート設定となります。

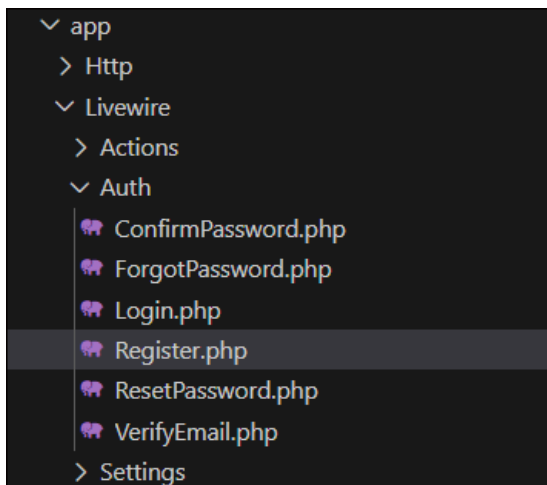
```
Route::get('settings/two-factor', TwoFactor::class)
    ->middleware(
        when(
            Features::canManageTwoFactorAuthentication()
                && Features::optionEnabled
                    (Features::twoFactorAuthentication(),
                     'confirmPassword'),
            ['password.confirm'],
            [],
        ),
    )
    ->name('two-factor.show');
```

二段階認証について、ご興味あれば、[本サポートガイド 2 ページ目](#)にご紹介した記事等も

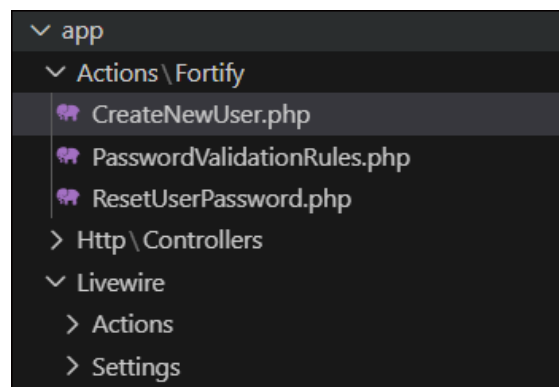
参考にしてください。

また、本書 p.108-109 ではユーザー登録用の処理部分を示しています。こちらは先ほどもお伝えしたとおり、変更前は `app/Livewire/Auth/Register.php` に書かれていましたが、変更後は `app/Actions/Fortify/CreateNewUser.php` に書かれています。

【109 ページ上の画像・変更前】



【109 ページ上の画像・変更前】



ユーザー登録用のビューファイルは、変更後も、
`resources/views/livewire/auth/register.blade.php` にあります。ただ、ファイルの中身
は一部変わっています。処理が Livewire で行われなくなったため、**Livewire との連携を
行う[wire]コードがなくなりました。代わりに、通常の Laravel の書き方に沿って、
form タグ内の action 属性にフォーム送信先のルートが指定されています。**

【110 ページコード・変更前（一部）】

```
<form wire:submit="register" class="flex flex-col gap-6">
  <!-- Name -->
  <flux:input
    wire:model="name"
    :label="__('Name')"
    type="text"
    required
    autofocus
    autocomplete="name"
    :placeholder="__('Full name')"
  />
```

【110 ページコード・変更後（一部）】

```
<form method="POST" action="{{ route('register.store') }}" class="flex flex-col gap-6">
  @csrf

  <!-- Name -->
  <flux:input
    name="name"
    :label="__('Name')"
    :value="old('name')"
    type="text"
    required
    autofocus
    autocomplete="name"
    :placeholder="__('Full name')"
  />
```


Livewire のコードを書いてみる

- 該当する章：4-3 Livewireのコードを書いてみる
- 該当ページ：p 115-118

本書では、Livewire の処理を説明するためにユーザー登録用ファイルを使ってきました。

ですが Fortify 導入により、ユーザー登録部分の処理に Livewire が使用されなくなりました。

そのため、**p.115-118 の Livewire 処理については、ユーザー登録用ファイルではな**

く、プロフィールページを使用してお試してください。プロフィールページは、

resources/views/livewire/settings/profile.blade.php となります。

まず、p.115-116 ページでご紹介した【.live】のコードは、プロフィールページにいれる

と、次のようになります。

【115-116 ページコード・変更後（赤色部分を追加）】 profile.blade.php

(省略)

```
<form wire:submit="updateProfileInformation" class="my-6 w-full space-y-6">
    <flux:input wire:model.live="name"
        :label="__('Name')"
        type="text"
        required autofocus autocomplete="name"
    />
    入力中 : {{ $name }}
```

【116-117 ページコード・変更後（赤色部分を追加）】 profile.blade.php

(省略)

```
<form wire:submit="updateProfileInformation" class="my-6 w-full space-y-6">
    <flux:input wire:model.live.debounce.1000ms="name"
        :label="__('Name')"
        type="text"
        required autofocus autocomplete="name"
    />
```

```
/>  
入力中 : {{ $name }}
```

次に、p.117 からご紹介している[4-3-2 リアルタイムバリデーション]については、プロフィールページを下記のように変更します。

【117 ページコード・変更後（赤色部分を追加）】 profile.blade.php

```
(省略)  
<form wire:submit="updateProfileInformation" class="my-6 w-full space-y-6">  
    <flux:input wire:model.blur="name"  
        :label="__(' Name')"  
        type="text"  
        required autofocus autocomplete="name"  
    />  
</form>
```

処理部分については app/Livewire/Settings/Profile.php の中の updatedName メソッドを下記のように変更します。ユーザー名が 2 文字以上の場合はエラーとなります。

【117-118 ページコード・変更後（赤色部分を追加）】 Profile.php

```
(省略)  
public function updatedName(): void  
{  
    $this->validateOnly('name', [  
        'name' => ['max:2'],  
    ]);  
}
```

レイアウトファイルの変更

- 該当する章：5-4 ComponentとFluxの利用
- 該当ページ： p 143

変更前は、ビューファイルのレイアウトの指定は、app/Livewire/Auth/Register.php に次のように記述されていました。

```
#[Layout('components.layouts.auth')]
```

前述のとおり、変更後は、app/Livewire/Auth/Register.php がなくなりました。レイアウトの指定は、resources/views/livewire/auth/register.blade.php ファイルの最初と最後で、タグを使って次のように行われています。

```
<x-layouts.auth>  
(省略)  
</x-layouts.auth>
```

レイアウトとして使用されるファイルは変更前と同様、resources/views/components/layouts/auth.blade.php です。